

とやま 輝く!! 富(む)山の仕事人!!

川上～川下まで、森林・木材に関わる様々な分野で頑張る人を紹介します。

今回ご紹介するのは、総合建設・森林整備工事等を行っている富山市(大山地区)の中川工業株式会社の島田俊一さんです。

中川工業さんは、「林業労働力の確保の促進に関する法律」にもとづく認定事業体であり、森林・林業関係では、各種森林整備業務のほか、送電線保安伐採業務や工事支障木伐採業務を請け負われています。特に、重機の導入ができない急傾斜地や危険が伴う大径木林などの「特殊伐倒施業地」での施工実績が多いことで有名な企業です。

その企業特性が発揮されたのが、平成27年8



島田さん(左)と中川一郎社長(右)



中川工業株式会社

島田 俊一さん

月に開催された「富山県チェーンソー競技チャンピオンシップ」です。県下のプロ施業者から選抜された参加14チームの中で、中川工業株式会社チームを総合優勝に導き、各種競技の総合成績上位3チームによる伐倒競技の部で一位(匠)に輝いたのが、島田俊一さんです。



チャンピオンシップでの優勝記念写真

島田さんは、会社では工務課長の役職ですが、常に「現場の感覚」を第一とし、自らの技術を研鑽しつつ、後進の育成に尽力されています。

最近では昨年に、チェーンソー競技の全国大会である第3回J・L・C(青森県)に出場されてきたそうです。この全国大会では、惜しくも上位入賞は逃し、全国のレベルの高さを痛感されたそうですが、今後ともチェーン

ソー競技を通じて、更なる技術力の向上と伐倒現場での安全第一主義の徹底、更に林業界のイメージアップに貢献していきたいとのこと。是非とも、先進他県のように、富山県でも県予選大会を開催してほしいとのご要望です・・・。

島田さんに会社についてお聞きしますと、「中川工業というしっかりとした」土台「があつて、個々が活かされている。作業を供にする仲間のチームワークの熟成とコミュニケーションの深さが、信頼関係と技術者集団を育てている。このことが企業としての一番の強み」だそうです。

また、伐採現場では、先代の社長からの考えで、「出せるところの伐採木は、出して利用する。」がモットーで、ウインチ付きグラップルやスイングヤーダ、フォワーダなどの多数の高性能林業機械が導入されています。良材は市場へ、BC材などは、選別してペレット工場やパルプ会社に、枝／葉などの廃棄材は自社施設でチップ化し、火力発電所へ出荷されているそうです。

最後に、これからも中川工業さんと富山の林業界を元気にする島田さんの益々のご活躍をご祈念申し上げます。

文責 富山農林振興センター 林政・普及班